

2024年

2024年9月5日

北海道地方 8月の天候

札幌管区气象台
気象防災部 予報課

概況

— 暖かい空気に覆われやすく高温。低気圧や前線の影響で多雨・寡照。 —

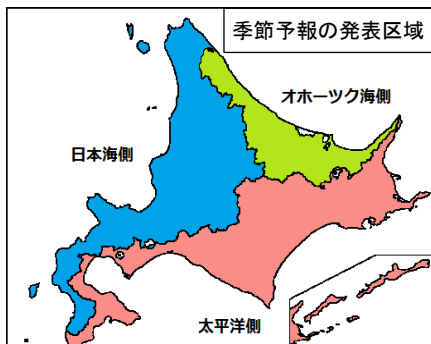
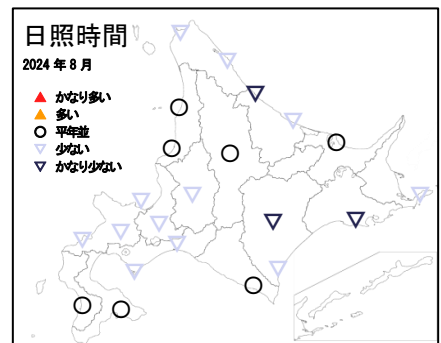
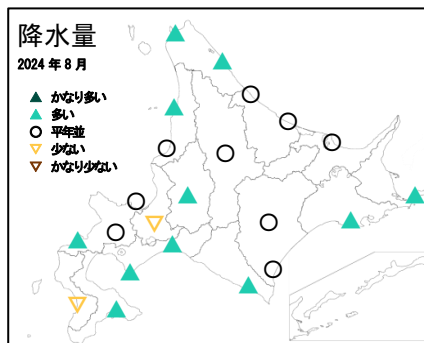
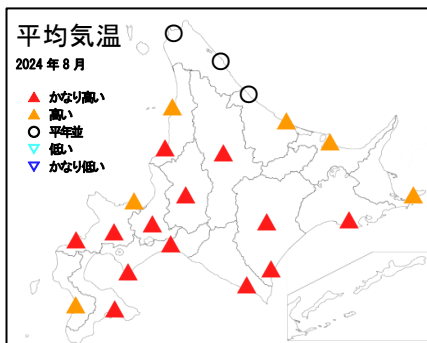
8月は、暖かい空気に覆われやすかったため気温は高く、太平洋側ではかなり高かった。太平洋側の月平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降、高い方から第2位の記録的な高温となった。一方でオホーツク海側では、たびたび北海道の北に位置する高気圧からの冷涼な空気の影響を受け、平年を下回る気温となる日もあり、気温の変動が大きかった。また、低気圧や前線の影響を受けやすかったため、北海道地方の日照時間は少なく、下旬は大雨となった日もあり、北海道地方と太平洋側で降水量は多かった。

上旬：低気圧や前線の影響を受けやすかったため、曇りや雨の日が多く、日照時間は北海道地方及び日本海側とオホーツク海側で少なかった。気温は、暖かい空気に覆われやすかったため、太平洋側でかなり高く、北海道地方及び日本海側で高かった。

中旬：11日から15日にかけては、台風第5号が南から近づき、熱帯低気圧に変わって北海道を通過したが、その後は北海道の北に位置する高気圧からの冷涼な空気の影響を受けやすかった。このため東からの湿った気流により雨となることが多く、山影となった日本海側では降水量が少なかった。気温は、暖かい空気に覆われやすかったため、太平洋側でかなり高く、北海道地方と日本海側で高かった。

下旬：低気圧や前線の影響を受けやすかったため曇りや雨の日が多く、日降水量として27日には胆振地方厚真で122.5mm、31日には釧路地方標茶で104.0mmを観測するなど、太平洋側を中心に大雨となった日があった。このため、降水量は北海道地方及び日本海側と太平洋側でかなり多く、オホーツク海側で多かった。また、日照時間は北海道地方及び太平洋側で少なかった。気温は、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込みやすかったため、かなり高かった。

階級分布図



- ※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。
- ※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。
- ※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.1	+	119	+	84	-
日本海側	+2.0	+	110	0	89	-
オホーツク海側	+0.9	+	111	0	81	-
太平洋側	+2.8	++	134	+	78	-

旬の統計値(地域平均)

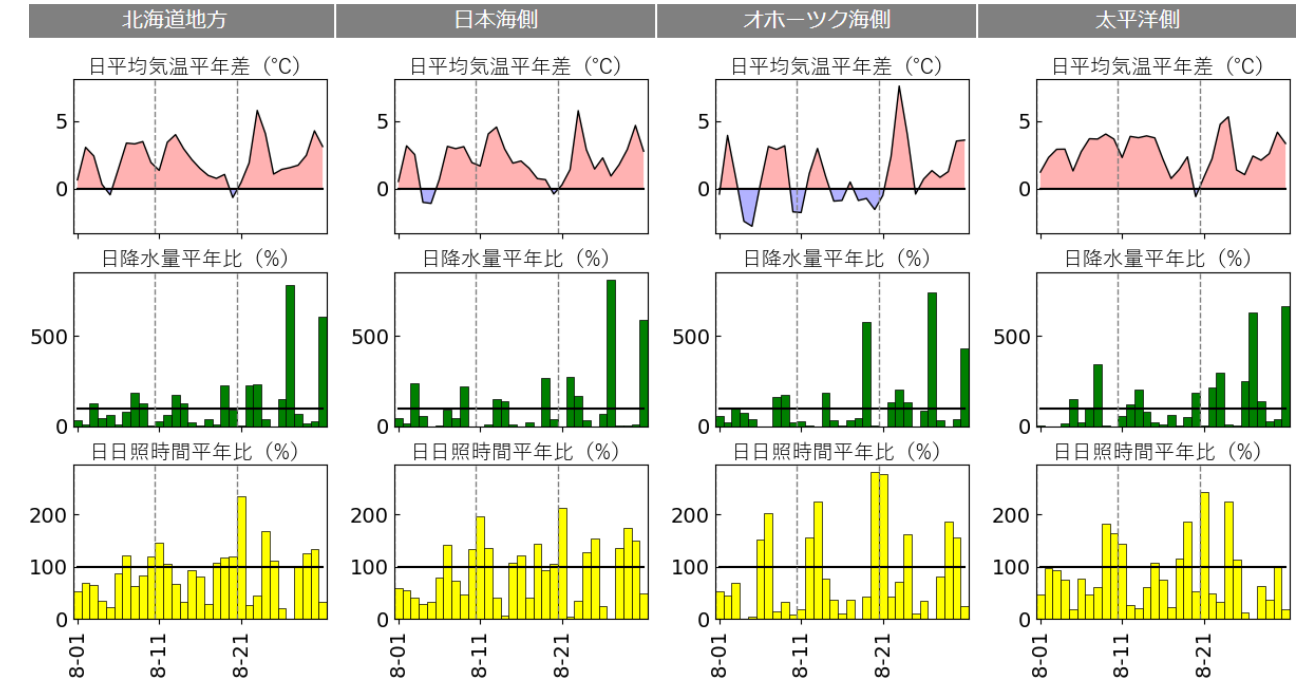
上旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.9	+	74	0	69	-
日本海側	+1.6	+	76	0	67	-
オホーツク海側	+0.7	0	71	0	56	-
太平洋側	+3.0	++	74	0	79	0

中旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.8	+	80	0	92	0
日本海側	+2.0	+	68	-	102	0
オホーツク海側	-0.1	0	95	0	92	0
太平洋側	+2.5	++	86	0	79	0

下旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.5	++	192	++	90	-
日本海側	+2.4	++	182	++	98	0
オホーツク海側	+2.2	++	164	+	94	0
太平洋側	+2.8	++	218	++	77	-

注) ・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注) グラフ横軸(日付)の▲、×はそれぞれ、該当する日のデータが資料不足値、欠測であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
札幌	24.6	+2.3	++	102.5	81	—	133.7	80	—
稚内	19.6)	+0.1	0	201.5)	164	+	108.4	72	—
北見枝幸	19.2	+0.1	0	173.0	122	+	101.2	79	—
旭川	23.8	+2.6	++	136.5	89	0	162.2	105	0
留萌	23.0	+2.1	++	137.5	109	0	159.4	91	0
羽幌	22.8	+1.9	+	205.0	150	+	182.7	105	0
岩見沢	23.9	+2.6	++	223.5	139	+	138.6	87	—
倶知安	23.1	+2.5	++	165.5	108	0	127.0	85	—
小樽	23.5	+1.8	+	120.0	91	0	129.9	77	—
寿都	23.3	+2.1	++	147.5	113	+	123.3	76	—
網走	21.5	+1.9	+	128.0	111	0	164.7	100	0
紋別	20.3	+1.0	+	113.0	93	0	111.4	77	—
雄武	19.5	+0.7	0	158.0	118	0	96.5	69	--
釧路	21.2	+3.0	++	190.0	134	+	84.0	71	--
根室	19.6	+2.2	+	216.5	164	+	93.9	75	—
帯広	22.7	+2.4	++	148.5	105	0	71.3	57	--
広尾	21.1	+2.5	++	237.0	109	0	89.4	78	—
室蘭	23.5	+2.9	++	264.0)	141	+	114.5	79	—
苫小牧	23.4	+3.0	++	283.5	144	+	91.0	74	—
浦河	23.3	+3.4	++	210.5	130	+	140.3	103	0
函館	24.7	+2.6	++	223.0	142	+	131.3	89	0
江差	24.4	+1.8	+	97.0	58	—	180.6	109	0

注）・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。
・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「）」付きの値は欠測を含む。「」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
8月	月平均気温の高い方から	第2位	岩見沢	23.9℃	+2.6℃	25.7℃(2023)	1947
			苫小牧	23.4℃	+3.0℃	24.5℃(2023)	1942
			浦河	23.3℃	+3.4℃	24.7℃(2023)	1927
			倶知安	23.1℃	+2.5℃	25.1℃(2023)	1944
		第3位	釧路	21.2℃	+3.0℃	21.8℃(2023)	1910
			函館	24.7℃	+2.6℃	26.5℃(2023)	1872
			広尾	21.1℃	+2.5℃	22.1℃(2023)	1958

注）・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 611-0170